



子ども船乗り体験事業：勝山市立北郷小学校

# みんなのかんきょう 64

SATOYAMA国際会議に向けて

SATOガール・SATOボーイ育成プロジェクト	2~4
SATOYAMA写真募集	4
里地里山地域資源ネットワーク交流会	5~6
ふくい環境フェア 2012	7~9
環境バスツアー（生物多様性コース）	10
環境バスツアー（循環社会形成コース）	11
環境ふくいCO <sub>2</sub> 削減貢献事業	12
ふくい生物多様性保全支援事業	13
ものを大切にする社会づくり事業	14
おいしいふくい食べきり運動	15
子ども船乗り体験事業	16
スマート暮らし実証事業	17
主な環境関係法令の改正情報	18
私たちの活動紹介	19
各種お知らせ、環境クイズ等	20

# SATOYAMA国際会議に向けて SATOガール・SATOボーイ育成プロジェクト

県では、今年9月に開催される「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ第4回定例会合」が開催されます。MAイニシアティブ国際パートナーシップ第4回定例会合に向けて、多くのイベントを開催していく予定です。ここでは、プレイベントの一つである、若者を対象としたSATOガール・SATOボーイ育成プロジェクトについてご紹介します。

里山を保全、再生するためには、継続的に人の手を入れて管理する必要があります。しかしながら、里山では、若者の都市への流出などにより、高齢化が進み、担い手が不足し、荒廃が進みつつあります。そこで県では、里山への関心が低いと言われている若者を対象に、農業、漁業、伝統工芸などの

**【参考条件】**

- ①18歳～39歳の方
- ②2つ以上のワークショップに参加可能な方

**【申込方法】**

ワークショップに参加するには、メールでの申込が必要です。  
詳しくは [SATOガール・SATOボーイ 検索](#)

**【参加料は無料です。】** (ワークショップにより、実費をご負担いただくことがあります)

**【お問い合わせ】** 福井県安全環境部環境政策課 TEL: 0776-20-0301 (直) Email: [kankyou@pref.fukui.lg.jp](mailto:kankyou@pref.fukui.lg.jp)

当事業は、県の「SATOガール・SATOボーイ育成プロジェクト」です。



第1回講座 伝統野菜講義の様子

実体験を通じ、楽しみながら福井の里山の魅力、保全の大切さを学べる連続講座を開催しています。○第1回ワークショップ「里山 × 福井の伝統野菜」第1回の講座「里山 × 福井の伝統野菜」では、伝統の福井野菜振興協議会の森本照美氏を講師に迎え、県内で栽培されている伝統野菜の物語、自然と共生しながら伝統野菜を育てている人のお話のほか、伝統野菜を使った料理をいただきました。参加した方の中には、「伝統野菜を福井の誇れるものとしてアピールしていけたら。」という声や、「里山の伝統を残していくために、行政だけなくたくさんの人との協力と理解が必要だと思った。」、「守っていくためには自分に何ができるのか考え

実体験を通じ、楽しみながら福井の里山の魅力、保全の大切さを学べる連続講座を開催しています。

## ○第1回ワークショップ「里山 × 福井の伝統野菜」

第1回の講座「里山 × 福井の伝統野菜」では、伝統の福井野菜振興協議会の森本照美氏を講師に迎え、県内で栽培されている伝統野菜の物語、自然と共生しながら伝統野菜を育てている人のお話のほか、伝統野菜を使った料理をいただきました。

参加した方の中には、「伝統野菜を福井の誇れるものとしてアピールしていけたら。」という声や、「里山の伝統を残していくために、行政だけなくたくさんの人との協力と理解が必要だと思った。」、「守っていくためには自分に何ができるのか考え

させられた。」という声などが聞かれました。

### ○第2回ワークショッピング「里山×写真」



第2回講座 里山写真の講義の様子

### ○第3回ワークショッピング「里山×越前和紙」

第3回ワークショッピング「里山×越前和紙」では、「写真は自然への気づきを表現できるもので、気軽に人に伝えられる。」など、思い思いに撮影した写真の講評を行いました。

### ○第4回ワークショッピング「里山×地酒」

第4回のワークショッピングは、坂井地区唯一の酒蔵、久保田酒造合資会社の久保田直邦社長を講師に迎えて開催しました。久保田酒造合資会社では、”その年の豊作を感謝して神様に奉納するために



第3回講座 ヨシ紙の手漉き体験の様子

### ○第5回ワークショッピング「里山×狩猟」

嶺南地域の里山では、ニホンジカやイノシシの生息数が急増しています。第5回ワークショッピングでは、小浜市農林水産課の畠中主査にご協力いただき、嶺南地域の里山の現状のほか、狩猟人口の減少が顕著となる中、里山の生態系バランスを維持するため狩猟が果たしている役割について学び、ジビエ料理の試食を行いながら、有害獣の有効利用の必要性について考えました。



第4回講座 地酒の講義の様子

越前市（旧今立町）五箇地区の和紙の里で、日本最初の紙幣にも採用された越前和紙の歴史を学びました。また、通常の和紙の原料である楮や三桠クショップでは、講師の林昌尚氏（福井県ネイチャーゲーム協会）からの、”一歩近づいて見てみれば普段は見落としてしまったがちな自然の素晴らしさ、生命の宇宙に気づくことができる。”というアドバイスのもと、実際に里山に出て写真撮影を行いました。その後、「知っているようで知らない里山、身近な環境にもっと親しみたい。」、「写真は自然への気づきを表現できるもので、気軽に人に伝えられる。」など、思い思いに撮影した写真の講評を行いました。

参加者からは、「人々は人の営みと自然が密接に関わっていたが、それが薄れていることが次代への課題だと思った。」という声が聞かれました。

作られたのが酒である”という考え方のもと、地元にこだわった酒造りをモットーに、福井県で栽培された酒米だけで仕込みを行っています。当日は酒蔵をはじめ、酒米作りを行っている田んぼの見学、お酒の試飲などをを行い、参加者はお酒の味の中にある里山の恵みに感謝し、思いを馳せていました。

里山を守っている狩猟の担い手をどうやって増やしていくかを考える中で、参加者からは、「狩猟に対して危険で残酷なイメージを持つていた。しかし、里山の生態系を守る必要性が分かり、いいイメージに変わった。里山を守る狩猟をもつとアピールすべき。」という声が聞かれました。

## ○第6回ワークショップ「里山×自然観察」

「里山×自然観察」と題して開催した第6回のワークショップは、県自然保護センター「自然観察の森」で、同センター多田所長、水谷企画主査による冬の里山に暮らす動植物に関する話を聞きながら、スノーシュートラベルを行いました。

鳥の声に耳を澄ましながら、冬芽や木の幹に触ったり、においを嗅いだり、感覚全てを使いながら自然を観察することで、自然の楽しみ方を学ぶことができました。参加者からは、「日々遠くから眺めている山々も、間近で見るといろんな表情をしていて面白かった。」「人の手が入ってこそ里山が守られている。昔と今では変わってしまっていることを他の人に伝えたい。」などといふ声が聞かれました。

SATOガール・SATOボーイの皆様には、これらの講座を通して、福井には魅力あふれる里山があり、それは大事に守っている方々がいるからこそあることに気付いていただいたと思いま

す。そして、身近な人に、誇りを持って福井の里山の魅力をアピールするとともに、こうした活動

をしている方々の小さな応援団となっていたことを期待しています。

# SAToyamaの写真を募集しています!!



SATOYAMA国際会議の開催にあたり、福井の里山の魅力を伝える写真を募集しています。

皆様のお手元にある写真の中から、人と自然、生き物、暮らし、文化などを表現する写真をぜひご応募ください。応募いただいた写真は、SATOYAMA国際会議当日に会場に掲示させていただくほか、同会議関連のポスター・チラシ等に使用させていただきます。

今年度の写真募集は終了していますが、平成25年度も募集します。ぜひ、ご応募ください。

### ■募集する写真 福井の里地・里山・里海

例 田んぼ、野菜畑、ソバ畑などの風景や間伐、

田植、稲刈などの作業風景の写真

カエル、トンボ、鳥、水仙などの動植物の写真

### ■応募資格 年齢、経験（プロ・アマ）は問いません

Jpeg形式でメールに添付して応募  
(CD,DVDでの応募も可能)

※これまでに撮影された写真の応募も大歓迎です。



赤とんぼプロジェクト 写真提供：勝山市

または、  
県内写真館  
環境政策課検索

店頭にて

# 奥越・丹南で里地里山地域資源ネットワーク交流会を開催しました!



多くの活動者が参加した交流会

平成25年秋、福井県で「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ第4回定例会合」が開催されます。県では、定例会合を契機として、県民が幅広く参加できる活動のネットワークづくりを進めるため、里地里山での活動者や農業者、教育関係者等による「里地里山地域資源ネットワーク交流会」を県内5地域（奥越、丹南、福井、坂井、嶺南）で開催することとしました。

第1回目となつた奥越会場は、昨年12月8日（土）に大野市文化会館で、また、第2回目の丹南会場は、今年2月24日（日）に越前市のサンドーム福井で開催し、各地域の環境保全活動者、農業者、教育関係者等に参加いただきました。

## ○基調講演

奥越会場では、環境NGO里地ネットワーク事務局長の竹田純一氏が「里地里山の自然とそれを支えるために」と題して基調

講演を行い、

里地里山の自

然を守るため

の国の取組み

や方針につい

て説明が行わ



里地ネットワーク事務局長 竹田 純一氏



(公財) 日本生態系協会理事 堂本泰章氏

堂本泰章氏が  
「里地里山の  
保全・再生を  
考える」と題  
して講演し、

自然の生態系  
は重要な社会  
資本であつて、  
その土地の自

然是地域社会で保全する必要があるとの話があり

ました。

## ○問題提起タイムで活動者が発表

保全活動を実践している学校・団体の方が、「環境教育」「身近な保全」「希少種保全」「里山の活用」「環境保全型農業」などのテーマで、実際の活動内容について発表を行いました。

奥越会場で環境教育のテーマで発表した勝山市

立平泉寺小学校教諭の西川直美氏は、同市にある池ヶ原湿原での取組みについて紹介。繁茂しているヨシを児童とともに刈り取った結果、希少な植物が増えたこと、また、刈り取ったヨシを活用して、やすい計画づくりが重要との話がありました。

丹南会場では、（公財）日本生態系協会理事の

作したという事例が紹介されました。

また、丹南会場では、身近な保全をテーマに、

河和田自然に親しむ会の谷口真栄氏が、鯖江市河和田地区で取り組んでいるホタルやオシドリの保全活動について発表しました。

参加者は各地域で実践される様々な活動について理解を深めた様子で、「どの団体の活動も素晴らしい。」との感想がありました。

## ○ディスカッショントイムで参加者が

### それぞれ意見交換

問題提起タイムでの各活動者の発表を踏まえ、参加者同士が積極的に意見交換を行いました。

参加者は「環境教育」「保全活動」「里山の活用」「環境保全型農業」など様々な分野に分かれて議論を行い、これを通して参加者同士の交流が図られました。

いきたい。

#### 〔保全活動〕

- ・持続的な活動のためには、コーディネートできる人（リーダー）づくりが必要。
- ・地域以外の参加者も積極的に受け入れて活動を活発にすべき。

- ・希少種保全で心配なことは、「マニア」が希少な生き物を捕獲してしまうこと。なぜ、希少種を保全しなければならないか、必要性をしっかりと周知することが重要。

- ・希少種保全で心配なことは、「マニア」が希少な生き物を捕獲してしまうこと。なぜ、希少種を保全しなければならないか、必要性をしっかりと周知することが重要。
- ・活動の担い手となる後継者の育成が必要。
- ・里山の活用には若者を積極的に取り込む仕組みが必要。（里山の仕事が体験できるなど）

#### 〔里山の活用〕

- ・環境保全型農業を実践することによる効果や意義について、農業者の理解を高めるため、もっと周知することが必要。

今後、各地域で順次、交流会を開催予定です。  
多くの方に里山について考  
えてもらう機会  
になるものと考  
えていますので、  
ぜひご参加ください。

なお、今回の  
交流会の結果や

今後の開催案内  
について、福井  
県安全環境部自  
然環境課のホー  
ムページで情報  
提供していきま  
すのでご覧くだ  
さい。

## 奥越・丹南会場のディスカッショントイム で出た主な意見

### 〔環境教育〕

- ・環境教育と併せてお年寄りの知恵・技術を伝承する機会とする。
- （例：ヨシを使ったよしす作り）

- ・地元の大学と連携して実りある活動を展開できたら良い。

- ・地域（小中学校、公民館、子ども会など）に企画提案して、連携しながら取り組んで

が体に良いこと、里山の保全の助けになることを知つてもらい、多くの人に買って食

- べてもらうよう、消費の働きかけすること  
が必要。



各分野に分かれ意見を交わし合う交流会参加者

## 〔情報提供URL・問い合わせ先〕 自然環境課ホームページ

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/shizen/index.html>

福井県安全環境部自然環境課自然環境保全グループ  
電話 0776-20-0306

# ふくい環境フェア2012

展示や体験を通して、県民が福井県の環境を守り育てることの大切さを考え、行動する県民運動の拡大を図るため、当協議会は、平成24年10月12日（金）13日（土）に、JR福井駅周辺で、ふくい環境フェア2012を開催しました。今回は、平成25年秋に開催される「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ」第4回定例会合のプレイイベントとしても位置付け、福井の里山を中心でPRしました。

今回で4回目の開催となる環境フェアは、12日のシンポジウムと13日の環境トーカステージ、イベント・展示コーナーの3本構成で行いました。

## イベント・展示コーナー

イベント・展示コーナーでは、里山関連ブースを中心に、県内企業、環境保全団体等合わせて約40社の皆様に、実際の体験を通して環境について考えていただきつかけとなるような工夫を凝らしたご出展をしていただきました。

②工エネルギー「コーナー」  
再生可能エネルギーや蓄電池など、エネルギーを有効に利用する商品の展示や、体を使つた発電体験などが紹介され、風力発電でミニカーを走らせることができると、子ども達が一生懸命、団扇で発電機をおいでいました。



環境活動の展示・古本の販売



福井のSATOYAMAをPR

③エコライフ「コーナー」  
環境に取り組まれている県内企業・団体などが出演したエコライフコーナーでは、マイバックの作成体験やふくいのおいしい水の試飲、古本市などを行われました。



省エネ製品の展示

①SATOYAMA「コーナー」  
平成24年7月にラムサール条約湿地に登録された、中池見湿地の紹介や、白山・坂口地区のコウノトリの活動紹介、福井県内の里地・里山の写真などが展示されました。

## シンポジウム



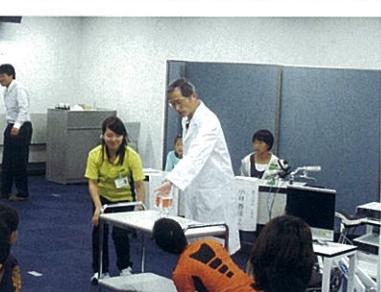
三方小学校の発表の様子

アオツサ県民ホールで開催したシンポジウムでは、若狭町立三方小学校の児童による田んぼや生き物を紹介する創作劇から始まり、循環型社会形成推進功労者表彰が行われました。続いて、俵越山氏が福井の里山と人々の暮らしについて講演し、最後に書の披露も行われました。

## 環境トーキステージ



俵越山氏講演



エンゼルランドによる発表と劇の様子

今回の環境フェアでは、「SATOYAMA」、

## ②俵越山氏

テレビ番組「俵太の達者でござる」で活躍された「越前屋俵太」こと、俵越山氏が、「越前若狭『里山』見廻り談義」と題し、講演されました。

講演では、10年間の番組経験を通し、感じ取った福井の里地里山の魅力を紹介しました。

大野で出会った、雪解け水で洗濯するおばあちゃんの話を例に、「里山とは、その自然単体ではなく、そこに暮らす人々がいてこそ大事なのだ。」とお話しされました。

最後に、「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ」第4回定例会合に向けて、書の披露を行いました。書には「SATOYAMA」と大きく書かれ、参加者からは大きな拍手と歓声が起きました。会合に向けた大きな一步となつたのではないかでしょうか。

①エンゼルランドふくい提供  
「みんなで話そう！エネルギーの未来」  
発表者 小学校高学年の皆さん  
劇発表者 中川博士とサイエンスな仲間たち  
エネルギーについて、関心のある子ども達が生活の中で気になったテーマを決め、調べたことを発表しました。家庭の電化製品の中で最も電気を使っているものは何か調べ、使用時間帯ごとに分析し、節電するための方法を考えたり、太陽光・風力などの自然エネルギーの特徴、普及に向けた課題などを調べて発表しました。

また、発表の合間に、私たちの生活の中でのエネルギーの問題点を、実験を交えた創作劇で紹介しました。生活に身近なテーマでの発表に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

「エネルギー」、「循環型社会形成」、「水環境」の4つをテーマに、パネルディスカッション、発表、講習会といった、様々なトーキステージを開催しました。

## ①エンゼルランドふくい提供

### 「みんなで話そう！エネルギーの未来」

発表者 小学校高学年の皆さん  
劇発表者 中川博士とサイエンスな仲間たち

## (2) 「里山ビジネス奮闘記」

コーディネーター 大塚玲奈氏（株式会社コトワザ代表取締役）

パネラー 山田晃裕氏（山田兄弟製紙株式会社代表取締役）  
〃 山崎洋子氏（おけら牧場・ラーバンの森経営）

船井達之氏（株式会社ナワーズ代表取締役）  
〃 船井達之氏（株式会社ナワーズ代表取締役）

エコ商材ネット販売などの経営をしている大塚氏をコーディネーターに招き、県内で環境と共生した事業を開拓する経営者3人とパネルディスカッションを行いました。

刈り取り後のヨシを活用し、紙づくりをしている山田氏、地域住民を巻き込みながら、環境に優しい農業を行っている山崎氏、県産材を使った箸を製造している船井氏と、環境への取り組み方は様々でしたが、大塚氏からは、それぞれが里地里山の素材とうまく付き合っていると講評を受けていました。参加者は熱心に聞き入り、経営のノウハウについて質問していました。



里山ビジネスの様子



里山ビジネスの様子

燃えるごみの4割以上を占める生ごみの減量化・リサイクルを促進するため、自宅で手軽にできる「ダンボールコンポスト」の実践講座を開催しました。

「ダンボールコンポスト」は、生ごみを専用の基材を入れたダンボールに入れて混ぜ合わせると、微生物の働きによって堆肥化される仕組みです。

40名の方が受講され、コンポストについての基本的な説明を聞いた後、実際にコンポスト作り体験を行いました。

臭いも少なく、ベランダ等でも簡単にできる魅力を知った受講者の皆さんからは、ぜひ家庭で実践したいという声がたくさん聞かれました。



ダンボールコンポスト作り体験の様子

（真名川水辺の楽校ビオフレンズ代表）  
高津琴博氏

水環境の専門家である奥村氏をコーディネーターに招き、嶺北、嶺南、国内の枠組みの中で水について取り組んでおられる3人とパネルディスカッションを行いました。

大野市の真名川を中心に出張授業を行い、かつての真名川本来の生き物が生息する川となるよう整備している高津氏、地下水が海への供給だけではなく、川の生物多様性にも貢献していることを発見した富永氏、地下水が海底に流れていることで文化や魚介類の生態に寄与していることを発見した谷口氏と、取り組み方は様々でした。参加者は熱心に聞き入り、地下水の保全について質問していました。



「『おいしい』だけじゃない、ふくいの水のヒミツ」ディスカッションの様子

## (3) 「ダンボールコンポスト講習会」

講師 宮田宏美氏（NPO循環生活研究所認定

ダンボールコンポストアドバイザー）

### ④ 「『おいしい』だけじゃない、ふくいの水のヒミツ」

コーディネーター 奥村充司氏

（福井工業高等専門学校准教授）

パネラー 富永修氏（福井県立大学教授）  
〃 谷口真人氏

当日は晴天で、延べ1万5千人を超える多くの方に来場いただきました。今回の環境フェアで、1人でも多くの方が環境の大切さを考えるきっかけとなつたことを期待しています。

# 環境バスツアーア

## （生物多様性コース）

当協議会では、自然環境の保全について学び、環境保全に対する意識の一層の向上を図るため、地球環境コース、循環社会形成コース、生物多様性コースの3分野でバスツアーやを行いました。

まず、「ラムサール条約湿地（三方五湖・中池見湿地）へ出かけよう」と題して、36名の参加者のもと、平成24年10月20日（土）に実施した生物多様性コースバスツアーアについてレポートします。

コミュニケーションズ・ラ・しじみ代表の田辺義郎氏から、久々子湖における浅場再生について、次に、ハスプロジェクト推進協議会代表の大下恭弘氏から、若狭町中山地区で実践している「かや田」の自然再生活動の取組みについて、最後に、若狭三方縄文博物館から三方五湖の歴史や文化、水月湖で調査が行われている「年縞」についての話がありました。

参加者からは様々な質問がなされるなど、三方五湖での活動について参加者の理解が深まつたようでした。

### 現場活動の見学



活動者の解説を聞く参加者

最初に訪れた若狭三方縄文博物館で、三方五湖で自然再生活動を実践している3名の方から座学により活動内容の解説をいたしました。

次に、実際の現場を見学しました。若狭町中山地区の「かや田」での保全活動、また、三方五湖の久々子湖における浅場再生活動、そして、昨年7月に国際的な湿地としてラムサール条約湿地に登録された中池見湿地における活動など、実際の現場を見ることにより、実践されている活動の一端に触れることができました。



中池見湿地を見学する参加者



久々子湖の浅場再生活動

# 環境バスツアーアー

## (循環社会形成コース)

次に、「リサイクル工場へ出かけよう」と題して、22名の参加者のもと、平成24年11月6日（火）に実施した循環社会形成コースのバスツアについてレポートします。

### JX金属敦賀リサイクル株式会社

まず、最初に訪れたのは、敦賀市にあるJX金属敦賀リサイクル株式会社です。携帯電話や、電子機器、小型家電などを分解、分別のうえ、基板などを焼却・破碎し、大分県にあるグループ工場などで貴金属やレアメタルを回収するリサイクル原料の製造（前処理）を行っています。また、構内にあるJX日鉱日石金属株式会社のLiB工場では、ノートパソコンなどに使われるリチウムイオン電池からレアメタルの回収も行っています。ここでは、最初に担当の方から工場の概要についてご説明いただいた後、バスで工場内を



工場の概要説明

移動して、様々な施設を見て回りました。参加者の方は、ドコモにより回収され、送られてきた大量の携帯電話やリチウムイオン電池から回収された炭酸リチウムなどのレアメタルを目の当たりにして、興味津々でした。



大量の携帯電話の見学

### 株式会社エフピコ中部リサイクル工場

次に訪れたのは、岐阜県の大垣ICの近くにある株式会社エフピコ中部リサイクル工場です。ここでは、各地のスーパーなどから回収した使用済みの食品トレーを、一度原

回収された食品トレー等の見学

再び新しいトレーを作り出すエフピコ方式のリサイクルシステム「トレーティート」を行っており、担当の方の軽快なしゃべりもあって、大変楽しく工場内を観察いたしました。

参加者の方も、身近な食品トレーのリサイクルということもあり、担当の方に次から次へと質問をしていました。



再生された食品トレーの説明

敦賀から岐阜県への移動のバスの中では、県が推進している「おいしいふくい食べきり運動」の紹介や簡単なクイズをさせていただき、昼食会場では、早速、参加者の皆様が食べきりを実践していました。

今回の環境バスツアーアーは、皆様のご協力おかげでどのコースも好評のうちに終了することができました。環境ふくい推進協議会では、これからも県内外の環境関連施設・イベントのツアーアーを実施しますので、多くの方の参加をお待ちしています。

# 環境ふくいCO<sub>2</sub>削減貢献事業

この事業では、当協議会が県内外の個人、法人または団体からの寄付金を、CO<sub>2</sub>削減活動を行う団体へ活用しています。

## オフセット元寄付受付

今年度は、福井青果(株)さんをはじめ、福井信用金庫さん、(社)福井県産業廃棄物協会さん、福井県環境測協会さんより本事業にご寄付をいただきました。またアサヒビール(株)さんからもご寄付いただける予定です。。

## オフセット先の活動

今年度は左記の8団体に資金を交付し、その活動を支援しました。今回は、平成24年度支援団体の内、北潟の森協議会の活動について紹介します。

団体名	活動内容	地域
のうねの郷づくり推進協議会	丸岡の味岡山の整備 【森林整備】	坂井市
中番環境を守る会	中番・下番区の森を整備 【植樹】	あわら市
北潟の森協議会	北潟沿岸の松を整備 【植樹】	あわら市
越の郷地球環境会議	ラポーゼかわだの森の植樹 【植樹】	鯖江市
ハツ杉千年の森づくり実行委員会	越前市内の数か所で植樹 【植樹】	越前市
さばえNPOサポートハピープロジェクト委員会	地域通貨の発行 【車利用削減】	鯖江市
若狭森林の会	杉間伐材を使ったまきストーブの普及 【石油ストーブ代替】	小浜市
石神の湧水保存会	石神の湧水施設を整備	越前市

### ○北潟の森協議会の活動

北潟の森協議会では、松くい虫や潮害により壊滅状態だった北潟海岸の森林において、市民、親子、学生、ボランティアなど、総勢50名による植樹活動を実施しました。同時に、細呂木小学校児童による森づくり学習会や、波松小学校児童による松ぼっくりの採取など、環境学習も行われました。



## お問い合わせ先

環境ふくい推進協議会事務局  
(福井県環境政策課 内)

0776-20-0301



低炭素杯2013の様子  
主催：低炭素杯2013実行委員会

## 福井信用金庫・さばえNPOサポート 低炭素杯2013ファイナリストに選出！

平成25年2月16～17日に東京ビッグサイトで開催された「低炭素杯2013」のファイナリストとして、「福井信用金庫」さん、「さばえNPOサポート」さんが選出されました。

「さばえNPOサポート」さんは、本年度の活動団体として、地域通貨「ハピー」を用いた、地域のCO<sub>2</sub>削減活動を行いました。

資金を提供している側と資金を活用している側の両輪が、うまくリンクしている素晴らしい事例として、全国に発信していただけたと思います。

この事業では、当協議会が県内外の個人、法人または団体からの寄付金を、CO<sub>2</sub>削減活動を行う団体へ活用しています。

# ふくい生物多様性保全支援事業

この事業では、当協議会が県内外の個人、法人または団体からの寄付金を、生き物の生息場所確保などの活動を行う団体へ活用しています。

今年度は左記の7団体に資金を交付し、その活動を支援しました。

平成24年度生物多様性事業支援先

団体名	活動内容	地域
安居の里を守る会	ホタル、ミズアオイ、ハッショウトンボの保護	福井市
ヤシャゲンゴロウを育てる会	ヤシャゲンゴロウの生息環境保全	南越前町
小原ECOプロジェクト	希少種ミチノクフクジュソウの保全	勝山市
鳥羽を考える会	ビオトープ整備	若狭町
郷の森 里楽	サワギキヨウ・カキラン等の保全	越前市
茂右衛門農場	水田の生き物の保全	鯖江市
武生めだか連絡会	アメリカザリガニ駆除	越前市

## ○鳥羽を考える会の活動

若狭町鳥羽地区において、様々な生き物と地域の住民が豊かになる環境づくりを目指して、ビオトープづくりを行っています。

この活動を通して、地区の園児が遠足やどろんこ遊びに訪れ、小学校児童は生き物観察に来てくれるようになりました。

小学生は、川で捕まえたメダカ、タニシ、どんこ、カワムツ、川えび、ゲンゴロウなどをビオトープに放して観察し、ビオトープを「えがお池」と名付け看板を製作するなど、地元にとつて素晴らしい環境保全の啓発となっています。

また、地域住民の方でビオトープにメダカの放流もしてくださいました。平成24年11月12日に鳥羽地区に飛来したコウノトリが度々、「えがお池」でカエルなどの生き物を食べる姿も見受けられました。

地区では、自然再生やビオトープに関心のある人達のグループも発足し、生き物保全による地域の環境づくりが盛り上がりかけています。

## お問い合わせ先

環境ふくい推進協議会事務局

(福井県自然環境課 内)

☎0776-20-0305



「えがお池」に飛来したコウノトリ



小学生による生き物観察

これら、2つの事業は、皆様の寄付金により実施しています。県内の環境貢献活動をより活性化するためにも、積極的な支援をよろしくお願いいたします。

# ものを大切にすること

当協議会では、「ものを大切にする社会づくりプロジェクト」として、県民一人ひとりが「もの」を大切にする「意識を持ち、良いものを大切に長く活用するライフスタイルに転換することを目指して、様々な取組みを行っています。

## ○【修理する文化】の醸成

### 1 「おもちゃの病院」、「親子のリサイクル体験教室」の開催

おもちゃやの修理を通して子ども達の「ものを大切にする心」を育成するため、「おもちゃの病院」を開催しています。

また、ものを修理して大切に使うことの良さを親子で体験していただくため、「親子のリサイクル体験教室」を、今年1月に初めて開催しました。

「親子のリサイクル体験教室」では、「服のリメイク体験」と「おもちゃの修理体験」の2つのコースを設け、着なくなつた大人用のシャツを子ども用のワンピースにリメイクしたり、動かなくなつたラジコンを親子の共同作業で修理したりしました。

参加した親子からは、「今後も家庭でリメイクや修理を行い、



服のリメイク体験

「ものを大切にしていきたい。」という声が聞かれました。

## 2 「おもちゃドクター」の養成

おもちゃの修理を行うボランティア「おもちゃドクター」の養成講座を開催しています。

養成した「おもちゃドクター」は、「おもちゃの病院」へのボランティア参加や、児童施設等に出向いておもちゃを修理する「おもちゃドクターアイナー研修」で活躍しています。

昨年12月には、養成講座の受講生や、若狭東高校の生徒を中心に、県内4つ目のおもちゃ修理グルーブ「わかさおもちゃ病院」が設立されました。



わかさおもちゃ病院

している「まごころ古本市」で販売し、その売り上げを植林や間伐などのCO<sub>2</sub>削減対策に活用しています。

また、今年度からは、有人販売に加えて、より多くの方にご利用いただけるよう、県内の各地で、古本の無人販売を行っています。

## 「まごころ古本市」

の開催情報は、県循環社会推進課のホームページ等で随時お知らせしていますので、ぜひご覧ください。



まごころ古本市  
まごころ古本市 検索

## 2 古本リサイクル活動の支援

NPO等の民間団体による古本のリサイクル活動を支援するため、古本回収ボックス等の備品貸し出しや、広報面での協力を実行しています。

絵本の読み聞かせグループ「おばま児童文学会風夢」は、東日本大震災の被災地を支援するため、古本回収ボックスで集めた絵本と、古本市を開催して得た収益で購入した図書券を、福島県の小学校に寄贈する取組みを行いました。



被災地支援の古本市

# おいしいふくい食べきり運動

県は、「燃やせるごみ」の約半分を占める「食品廃棄物」の削減や、食事を楽しみ食材を無駄にしない生活の定着を目指して、「おいしいふくい食べきり運動」のパワーアップを図っています。

県は、「燃やせるごみ」の約半分を占める「食品廃棄物」の削減や、食事を楽しみ食材を無駄にしない生活の定着を目指して、「おいしいふくい食べきり運動」のパワーアップを図っています。

さらに、平成24年3月、あわら市に「食べきり運動推進協議会」が設立され、住民参加による地域一体となつた食べきり運動を展開しています。具体的には、芦原温泉旅館協同組合・女将の会を中心となり、量を少なめにして、質を重視したパーティ会席プランを用意するなど、旅館での食品ロス削減に向けた取組みを開始しています。

平成24年11月には、「ふくい味の祭典」や「さばえものづくり博覧会」において、会場全体を使つた運動のPRを行うなど、県民の食べきり意識の向上に努めました。

また、平成23年度に作つた運動のキャラクターの愛称を募集し、143作品の中から、「のっこさん」と決まりました。



## ○ あらゆる機会に目とまる食べきり運動

パワーアップの一環として、平成24年度から新たに、福井の旬の食材などのPRと合わせた食べきり運動の普及啓発を始めています。

## ○ あわら市食べきり運動

さらに、平成24年3月、あわら市に「食べきり運動推進協議会」が設立され、住民参加による地域一体となつた食べきり運動を展開しています。

具体的には、芦原温泉旅館協同組合・女将の会を中心となり、量を少なめにして、質を重視したパーティ会席プランを用意するなど、旅館での食品ロス削減に向けた取組みを開始しています。

○ 県民の皆様へのお願い

この運動は、県民の皆様のご協力が必要です。これから歓送迎会シーズンを迎え、宴会が増えます。次の五箇条を参考に、幹事さんだけでなく皆さんも、おいしい食事を楽しみながら、食べきり運動にご協力ください。

### 幹事さんにお願い 宴会五箇条

其の一 出席者の性別や年齢などを店に伝えるため、学校給食の食べきり運動に取り組みました。子ども達からは、「作ってくれることを考え、感謝して食べきろうという気持ちになつた。」などの声が寄せられました。

今後も、地域ぐるみの運動を拡大し、県民が参加しやすい運動の仕組みづくりやキャラクターを活用して、「おいしいふくい食べきり運動」の全县的な県民運動としての定着と活性化を目指します。

其の二 食べる時間を作りましょう。

其の三 料理がたくさん残っているテーブルから、少ないテーブルへ料理を分けましょう。

其の四 幹事さんや司会の方は、宴会中に「食べ残しのないように！」の声かけをしましょう。

其の五 食中毒の危険のない料理を持ち帰り用として折り詰めて注文するなど、食べ残しがない注文の工夫をしましょう。

# 子ども船乗り体験事業

当協議会では、平成21年度から県の「地域と共動した子ども自然体験プロジェクト」の一環として、「子ども船乗り体験事業」を行ってきました。民間の漁船や遊覧船、小浜水産高校の実習船「雲龍丸」や県水産試験場の調査船を活用し、定置網漁など里海における人の営みを体験するとともに、海上から福井の自然を見ることにより、ふるさと福井の豊かな自然に親しみ、感受性を育むことを目的としています。

対象は、県内の小中学校で、協議会では日程の調整や船乗り体験に係るバス借上げ料、乗船料の助成など経費の支援を行っています。今年度は、1,079名の児童・生徒さんに、里海での船乗り体験をしていただきました。

子どものころに豊かな自然体験を経験することは、自己教育力を向上させ、学力の向上にもつながると言われていますので、ぜひご活用ください。

## 県有船を利用した航海体験

小浜水産高校の教育実習船である雲龍丸、県水産試験場が所有する調査船を活用して、主に嶺南を中心で実施しています。実習や海洋調査の忙しい合間に縫つて、小中学生に航海体験やロープ遊び体験、水質調査をしていただいています。乗務員の補助を受けながら、大型船を操縦したり、説

明を聞いたりする児童・生徒の皆さんのは顔は真剣そのものでした。デッキからは、美しく豊かな若狭の海を体験することができました。



美浜町丹生漁港での活動

## 漁船を利用した定置網漁体験

県内4つの漁業協同組合のご協力をい

ただいて実施しています。児童・生徒の皆さんには、漁船に乗して実際の漁を体験しましたが、定置網から上がってくるたくさんの魚、漁の後を追つてたくさん



県水産試験場調査船での活動（敦賀港）



小浜水産高校「雲龍丸」での活動（小浜港）

## 観光遊覧船を利用したSATOYAMA体験

福井の海岸沿いには、貴重な地層が露出しているところがあります。特に、小学校理科の教科書にも掲載されたことのある「福良の浜」は、地層見学の中心となっています。海上からの地層の様子を見るために、船を移動教室として活用し、船乗りを体験しながら、福井の美しい自然を体感していただいています。

また、蘇洞門遊覧船を活用して、三方五湖の浦見運河を見学し、自然と人々の生活とのつながりの学習も行いました。



東尋坊遊覧船を活用した地層学習



蘇洞門遊覧船を活用したSATOYAMA学習

の海鳥が集まつてくる光景に大きな歓声を上げていました。カジキなどの大きな魚も収穫できたようです。児童・生徒の皆さんには、福井の豊かな里海を実感していました。

# スマート暮らし実証事業

## 背景と目的

暮らし実証事業」を実施しています。

福井県の家庭部門から排出される温室効果ガスの排出量は、県全体の14・4%を占めています。また、その推移は、産業部門や運輸部門は減少傾向であるものの、家庭部門は横這い、ないしは微増傾向となっています。これは、家電等機器の省エネ化は進んでいるもの、機器の大型化や生活様式の変化により、世帯あたりのエネルギー消費量が増加していることが要因と考えられています。

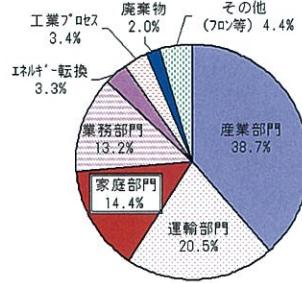


図2 福井県の温室効果ガス排出量(部門別)の推移(年度)

図1 福井県の部門別排出割合(H21年度)

家庭部門の温室効果ガス排出量を削減するためには、住民の「暮らし方」の改善が重要な要素であることから、高浜町・おおい町において、地域の気候や住宅にあつた快適かつエコで持続可能な暮らし方（スマート暮らし）を検証する「スマート暮らし

ガス排出量を削減するためには、住民の「暮らし方」の改善が重要な要素であることから、世帯あたりのエネルギー消費量が増加していることが要因と考えられています。

## 事業概要

①高浜町・おおい町でモニターを募集し、その世帯の電気、ガス、水道、灯油といったエネルギーの使用状況を、HEMS※の設置やアンケートの実施により調査

②エネルギー消費行動を分析し、各世帯のムリ・ムラ・ムダといった課題を抽出とともに、エネルギー消費に関する地域特性を把握

③各世帯の課題を解決するためのアドバイスと、その効果確認により、快適かつエコで継続可能な「省エネ行動」を検証

④検証した省エネ行動を織り込み、地域特性に合った新たなライフスタイル（スマート暮らし）を取りまとめ、県内外に提案・周知することにより温室効果ガスの排出量を削減

## 実施体制

大学、研究機関、民間企業、県、町で構成するワーキンググループを設置し、事業の推進のための具体的な協議や、成果の県内への普及のための方策検討等を行います。

## 事業期間

平成24～25年度（2年間）

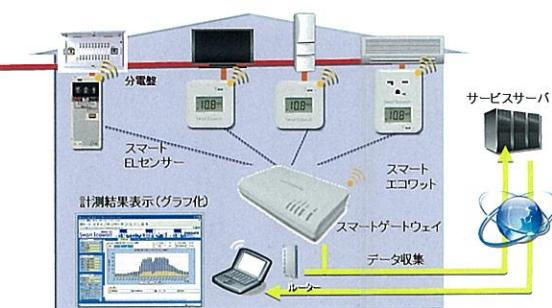


図3 HEMSの機器構成

※HEMSとは、家庭内のエアコン、テレビ、冷蔵庫等の家電の電力使用量を計測し、見える化する機器

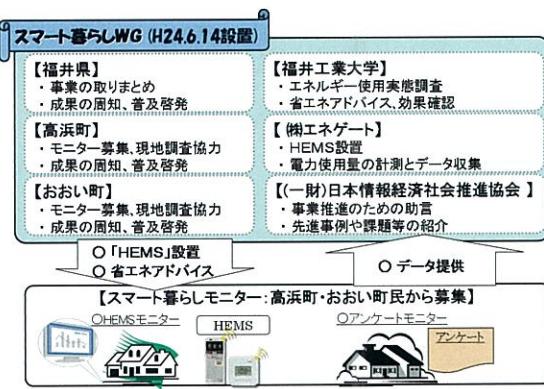


図4 実施体制

本事業の詳細は県ホームページをご覧下さい。

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankyou/teitanso-machi/teitansosuma-kura.html>

# 主な環境関係法令の改正情報

(H24.8～H25.1)

協議会では、ISO14001などの環境マネジメントシステムや環境対策に取り組まれている、もしくは、取り組もうとされている事業者の方などに参考としていただけるよう、講演会や法令等の最新の情報提供などをしています。

## 主な環境関係法令の改正情報 (H24.8.～H25.1.) 法令チェックなどご利用ください。

- 水 質**
- 水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件 (平成24年環境省告示第127号)
 

概要・「水質汚濁に係る環境基準について」(昭和46年環境庁告示第59号)において、生活環境の保全に関する環境基準のうち、水生生物の生息状況の適応性に係るものとして、従来の全亜鉛にノルフェノールが追加された。

公布 平成24年8月22日
  - 水質汚濁防止法施行令の一部を改正する政令 (平成24年政令第251号)
 

概要・「一・三・五・七テトラアザトリシクロ【三・三・一・一(三・七)】デカン(別名ヘキサメチレンテトラミン)」が指定物質に追加された。

施行 平成25年10月1日
- 
- アセス**
- 電気事業法施行規則の一部を改正する省令 (平成24年経済産業省令第75号)
 

概要・環境影響評価法の対象事業として風力発電所に係る工事が追加されたことに伴い、電気事業法施行規則別表第一に規定されている簡易的な方法による環境影響評価の実施について、風力発電事業に係る規定が追加された。

施行 平成24年10月1日
  - 環境影響評価法施行令の一部を改正する政令 (平成24年政令第265号)
  - 環境影響評価法施行規則の一部を改正する省令 (平成24年環境省令第31号)
 

概要・環境影響評価法の対象事業の要件となる給付金として、「沖縄振興自主戦略交付金」を削除し、「沖縄振興特別措置法第105条の3第2項に規定する交付金」が追加された。

    - ・配慮書について、環境大臣および主務大臣の意見提出期間がそれぞれ45日および90日とされた。
    - ・報告書について、環境大臣および免許等を行う者等の意見提出期間がそれぞれ45日および90日とされた。
    - ・都市計画に定められる対象事業等に関する所要の改正が行われた。

施行 平成25年4月1日
  - 廃棄物の最終処分場事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令の一部を改正する省令 (平成24年環境省令第33号)
 

概要・環境影響評価法の一部を改正する法律(平成23年法律第27号)で新たに創設された計画段階環境配慮書手続や環境保全等の措置等の手続について、廃棄物の最終処分場事業に係るものが主務省令(環境省令)で定められた。

施行 平成25年4月1日
- 
- 廃棄物**
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令 (平成24年環境省令第24号)
 

概要・一般廃棄物収集運搬業の許可を要しない者として、環境大臣の委託を受けて東日本大震災により生じた災害廃棄物である一般廃棄物の収集・運搬を業として行う者等が追加された。

公布 平成24年9月11日
  - 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令 (平成24年政令第297号)
 

概要・船内の日常生活に伴い生ずる廃棄物および船舶の通常の活動に伴い生ずる廃棄物のうち海域において排出できるもの、ならびに海洋施設から排出することができる廃棄物が定められ、それぞれの排出基準が定められた。

施行 平成25年1月1日
  - ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法施行令の一部を改正する政令 (平成24年政令第298号)
 

概要・ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法第10条に基づく事業者によるポリ塩化ビフェニル廃棄物の処分の期間が平成39年3月31日まで延長された。

公布 平成24年12月12日
  - 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部を改正する政令 (平成25年政令第12号)
 

概要・一・四-ジオキサンを含む廃棄物の処分の用に供する産業廃棄物焼却施設において生じたばいじん等であって一・四-ジオキサンを基準以上含むもの等が特別管理産業廃棄物に追加された。

    - ・上記のばいじん等について、埋立処分の基準が定められた。
    - ・海洋投入処分が禁止される産業廃棄物として、一・四-ジオキサンを基準以上含む廃棄物が追加された。

施行 平成25年6月1日
- 
- 労働衛生**
- 労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令 (平成24年政令第241号)
 

概要・譲渡または提供時に名称等を表示しなければならないこととなる物・製剤等に「インジウム化合物」、「エチルベンゼン」および「コバルト及びその無機化合物」が追加された。

    - ・製造または取扱いに、作業主任者の選任、作業環境測定、特殊健康診断等を行わなければならないこととなる第2類物質に「インジウム化合物」、「エチルベンゼン」および「コバルト及びその無機化合物」が追加された。
    - ・製造または取扱いの業務に常時従事させたことのある労働者で、現に使用しているものに対し健康診断を行わなければならぬこととなる物・製剤等に「インジウム化合物」、「コバルト及びその無機化合物」および「エチルベンゼン」が追加された。

施行 平成25年1月1日
  - 労働安全衛生規則等の一部を改正する省令 (平成24年厚生労働省令第143号)
 

概要・インジウム化合物、エチルベンゼン、コバルト化合物について、一定濃度以上含有する製剤等が、譲渡または提供時に名称等を表示しなければならない物に追加された。

    - ・新規化学物質の名称等に係る届出様式の備考が改正された。
    - ・インジウム化合物、コバルト化合物について、一定濃度以上含有する製剤等が管理第二類物質に追加され、エチルベンゼンを一定濃度以上含有する製剤等が第二類物質の一類型に追加された。

施行 平成25年1月1日
- 
- 化 物 質**
- 毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令 (平成24年政令第242号)
  - 毒物及び劇物取締法施行規則の一部を改正する省令 (平成24年厚生労働省令第130号)
 

概要・ゲルマニウム、セレンおよびヒ素を含むガラス状物質およびこれを含有する製剤が毒物から除外された。

    - ・3-ブロモ-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-N-[4-シアノ-2-メチル-6-(メチルカルバモイル)フェニル]-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド(別名シアントラニリプロール)およびこれを含有する製剤が劇物から除外された。

公布 平成24年9月20日
  - 毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令 (平成24年政令第245号)
  - 毒物及び劇物取締法施行規則の一部を改正する省令 (平成24年厚生労働省令第131号)
 

概要・次のものが毒物に追加された。

    - ・オルトケイ酸テトラメチル及びこれを含有する製剤、2,3-ジシアノ-1,4-ジチアアントラキノン(別名ジチアノン)及びこれを含有する製剤(50%以下を除く)、1,1-ジメチルヒドラジン及びこれを含有する製剤、トリプチルアミン及びこれを含有する製剤、ヘキサキス( $\beta,\beta$ -ジメチルフェニル)ジスタンノキサン(別名酸化フエンブタスズ)及びこれを含有する製剤
    - ・次のものが劇物に追加された。
    - ・2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン及びこれを含有する製剤、2,3-ジシアノ-1,4-ジチアアントラキノン(別名ジチアノン)50%以下を含有する製剤、2,3-ジブロモプロパン-1-オール及びこれを含有する製剤、メタバナジン酸アンモニウム及びこれを含有する製剤、 $\alpha$ -メチリデンブタン二酸(別名メチレンコハク酸)及びこれを含有する製剤
    - ・沃化メチル及びこれを含有する製剤が農業用品目へ収載された。

施行 平成24年10月1日
- 
- 公害防止組織**
- 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律施行令の一部を改正する政令 (平成25年政令第15号)
 

概要・1,4-ジオキサンおよび塩化ビニルモノマーを含む汚水または廃液を排出する施設が設置されている工場を特定工場とするため、これらの物質を溶剤として使用する合成樹脂の製造施設等が別表第1に追加された。

公布 平成25年1月25日

# 私たちの活動紹介

## わかさ おもちゃ病院

代表 永谷 昇

大量生産で物が豊富に安く手に入るようになった現在、壊れたものを修理して使うより、新しく買ったほうが良いという、使い捨ての考えが主流となっています。良いものは大切に使い、壊れても修理すれば、世代を超えて使用できます。日本は資源のほとんどを外国からの輸入に頼っています。省エネルギー社会を進めるためには、限られた資源を有効に利用しリサイクルしてゆくこと、物を大切にする心を再び芽生えさせることが必要ではないかと思います。

「わかさ おもちゃ病院」は「おもちゃの修理を通して、子ども達の“ものを大切にする心”を育むとともにリサイクルの精神を養う」ことを目的に、昨年12月に設立しました。若狭地区を中心として活動する県内4番目のおもちゃ病院です。メンバーは、県が主催するおもちゃ修理のボランティア「おもちゃドクター」養成講座の若狭地区在住の受講者、若狭東高校工業研究部の先生と生徒さんで構成しています。壊れて動かなくなった大切なおもちゃが、修理



したら元通り動くようになった、という感動を子ども達に味わってもらえば、これからはもっと大切に使おうとする心が芽生えるのではないかと願っています。まだ発足したばかりの会ですが、子ども達とのふれあいと感動を大切にしながら、物作りの楽しさも感じてもらえるような活動を続けてゆきたいと考えています。また、おもちゃドクターの輪も広げてゆきたいと思っていますので興味のある方はご連絡ください。



## 越前市白山小学校

教頭 土井内絹子

本校が位置する白山地区は、自然豊かな地域で、アベサンショウウオ・メダカ・サギソウなどの希少野生生物が生息し、地域住民によって保護活動が行われています。また、一昨年より、コウノトリと共にした生活が始まり、里地里山の保全活動やコウノトリを呼び戻す農法も行われています。

本校においても、全年において環境学習を取り入れたり、環境保全活動を行ったりしています。5・6年生は、「ふゆみず田んぼ」による稻作体験活動に取り組んでいます。田植え、草取り、稲刈り、天日干し、米の袋詰め、田んぼへのぬかまきなど、一連の稻作体験をしています。それと同時に、稻の成長を記録したり生き物調査をしたりしています。



無農薬・有機栽培による農法をすることで稻が豊かに成長することや、田んぼの生き物の種類が増加していることなどが分かりました。そして、この取組みが環境保全に大きく関わっていることを実感しました。



また、昨年度の市の事業「コウノトリが舞う里づくり大作戦」には、地域の方々の協力をいただきながら、全校児童も参加しました。5・6年生は、コウノトリの巣塔にペイントし、巣塔は飛来に向けてケージの横にそびえ立っています。また、今年度は、全校児童と地域の方々と一緒に歌った、一途の楽曲「未来に残そう命の環」がCD化されました。この歌を通して、「美しく豊かな自然にしていこう」と発信しました。今後も、自然を大切にし、環境の保全に寄与する子ども達を育てていけるような環境学習を継続していきたいと思います。

## チャレンジ!! 環境クイズ

全問正解の方にプレゼントをお送りいたします。たくさんのご応募お待ちしております!

第1問:おもちゃの修理を行うボランティア「おもちゃドクター」の養成講座の受講生や、若狭東高校の生徒を中心に設立された県内4つ目のおもちゃ修理グループの名称は?

- ①おもちゃドクター病院 ②つるがおもちゃ病院 ③わかさおもちゃ病院

第2問:このキャラクターの愛称は?

- ①ペロリー ②のっこさん ③の~こSUN



第3問:「俵太の達者でござる」で有名な、「越前屋俵太」こと、俵越山氏が、環境フェア2012時に披露した書の内容は?

- ①IPS ②里地・里山・里海 ③SATOYAMA

### 環境クイズ応募要領

方法: 答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、性別および本誌の感想を官製はがきに書いて、当協議会まで郵送してください  
締切日: 平成25年5月10日(金)(当日消印有効)全問正解者のうちから抽選で5名の方に、図書カードをお送りいたします。

応募先: 〒910-8580(住所記入不要)環境ふくい推進協議会(福井県環境政策課内)

\*環境クイズプレゼントの当選者発表は、発送をもってかえさせていただきます。

\*応募者の個人情報は入賞の連絡のためにのみ使用し、個人情報保護に関する法令に従って厳正に管理いたします。

前回回答

第1問②か所目 第2問①食べ残しの減量化の取組みを実施している飲食店 第3問①地球環境コース

## 環境ふくい推進協議会からのお知らせ

### 当協議会の、ホームページ、facebookを是非ご活用ください!

ホームページでは、環境保全に関するお知らせやイベント情報を検索でき、カラフルで見やすくなっています!! ecoイベント申込フォームからは、皆様からの環境に関する情報をホームページにアップでき、情報共有ができるようになっています。イベントの周知、実施前の参加者募集や実施後の活動報告としてお使いいただけます。アップした内容は、月2回のメールマガジンにて会員の皆様に配信されます。

また、facebookでは、当協議会の活動紹介に対してコメントを書き込んでいただけます。「いいね!」ボタンを押して、つながりの輪を広げていきましょう。

これからも情報を提供するだけでなく、環境活動に取り組む皆さんがネットワークを広げ、より充実した活動ができるようお手伝いをしていきます。

→<http://www.kankyou-fukui.jp/kankyou-fukui/skg/>

**環境ふくい推進協議会 facebook**

検索

### 環境ふくい推進協議会 会員募集!

環境ふくい推進協議会では、随時会員を募集しています。環境問題に関心のある方、本誌『みんなのかんきょう』を読みたい方、当協議会主催行事等の情報を知りたい方は、ぜひご入会ください。お待ちしております!

<年会費>個人会員:500円(1口以上何口でも可) 企業会員:10,000円(1口以上何口でも可) 団体会員:無料  
<お申込み・お問い合わせ>環境ふくい推進協議会事務局(福井県環境政策課内)TEL:0776-20-0301

## クリーンエリア宣言事業所募集中

福井県では、事業者及び地域団体等が、社会活動の一環として自ら事業所周辺や地域の環境美化活動を実践し、その輪を広げることにより地域環境保全意識の高揚を図るとともに、ごみのない美しいまちづくりを推進するため、クリーンエリア拡充運動を展開しています。本運動の趣旨に賛同される事業者等の申込受付を行っております。皆様の積極的な参加をお願いします。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankyou/index.html>

## 読者窓

みんなのかんきょう第63号に関するたくさんのお葉書、お手紙ありがとうございました。  
今後も、より良い情報誌とするため、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。掲載希望記事等もお寄せくださいませ。

「まごころ古本市」初めて知りました。資源回収もいいですが、本とかはもったいなくて再利用していただけることを知り、うれしいです。  
(永平寺町 Sさん)

職場では環境について良く考え、行動にも触れている毎日です。ゴーヤとフウセンカズラのグリーンカーテンも毎年しています。職場で出るコーヒーの豆かすも肥料として使用しています。  
(福井市 Kさん)

中池見湿地の紹介では、地元の者でも知らないことがわかりやすく紹介されており、周りの人にも教えてあげたいと思います。  
(敦賀市 Yさん)

SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップの記事を読みました。福井でもそういった取組みがあると知り、大変興味深いです。福井が今後も良いモデルケースとなっていくよう見守りたいです。  
(福井市 Oさん)

## 編集後記

今年9月の SATOYAMA国際会議に向けて、いろいろなプロジェクトが動き出しています。環境への意識は、単独で行うより、多くの人が何らかの形で環境と関わる機会を増やしていくことで高まるのではないかでしょうか。カギはネットワークにあり!と思います。

今後も「みんなのかんきょう」やホームページ、facebookの中で、皆様の活動や情報を紹介、発信していきます。ぜひ多くの情報を寄せください。環境の輪を広げていきましょう!